全法連事務局 御中
(mail@zenkokuhojinkai.or.jp)

１．法人会版健康経営宣言書「企業」用

(2022年4月22日現在)

所属県連名／所属単位会名			島根県県連	益田法人会
企業情報	会社名		高橋建設株式会社	
	代表者名		高橋　宏聡	
	会社所在地			
	TEL	FAX		
	業種	社員数	総合工事業	100 名
	会員名(*)		高橋知子	
	会員メールアドレス			

(*)会員名の欄は、代表者名と同じ場合は記入不要。

健康づくりの取組目標・取組内容

健康経営宣言 （目標）	・健康経営で働くみんなが健康で活力ある企業をめざす。
実施している活動が該当するカテゴリー1つ以上に〇をつけてください。	①**フィジカル（身体的）部門**…運動や身体的な改善内容等 ●健康活動をバックアップします フィットネス施設の使用料会社負担 事務系職員への万歩計配布 健康診断100%受診の維持と二次検診の推奨 ②**メンタル（精神的）部門**…社員のメンタルヘルス対策や職場環境改善等 ●メンタルヘルス環境の継続的改善の実施 経営者との定期的な面談の機会を設ける 職員同士のコミュニケーションの機会を設ける 有給休暇の取得促進 ③**ソーシャル（社会的）部門**…地域貢献活動やボランティア活動等 ●地域貢献活動の積極的な実施 河川清掃等の地域貢献活動の実施 工事現場毎に地域に根ざしたボランティア活動の実施 地域建設業として事故・災害時に即応出来る体制整備

（下記1・2 のそれぞれ該当する項目にチェックを 1つ入れてください。）

1	☑ 全法連ホームページ及び内部資料に所属・社名を掲載することを承諾します。 ☐ 内部資料に所属・社名を掲載することを承諾します。 ☐ 全法連ホームページ及び内部資料のどちらも掲載することを承諾しません。
2	☑ 裏面の確認事項に同意し、事務局によるアンケート調査システムへの代理登録を承諾します。 ☐ アンケート調査システムは登録済みです。…裏面記入不要 ☐ アンケート調査システムへの登録は行ないません。

上記のとおり申し込みます。

企業名	高橋建設　株式会社
（企業名）カナ	タカハシケンセツ　カブシキガイシャ
申請者名	佐々木　知子
（申請者名）カナ	ササキ　トモコ
申請者の役職名	社長室室長
カテゴリー 1 フィジカル　2 メンタル 3 ソーシャル	1
活動のタイトル	１０代～８０代がイキイキ働ける会社！～健康経営で豊かなまちづくりを～
活動期間の始期（年月日）	6/1/2018
活動期間の終期（年月日）	6/30/2023
取り組みに至る背景	弊社では長きに渡り健康経営に取り組んできましたが、2013 年初代社長が病気で他界し、職員の中でも病に侵された方々もいらっしゃいました。一人ひとり大事な職員であった為、さらに職員の健康を考えていく想いは強くなりました。一日２４時間、起きている時間を考えると多くの時間の中で仕事して過ごしているのではないでしょうか。その会社で職員の健康を把握し促して伝えていくことは職員とその家族の幸せに繋がります。会社としてバックアップしながら健康は一日でつくられるものではないので、日々きっかけを与えることで一人ひとりが考えて行動し生活してもらい、活き活きと働き続けられる１００年企業になるためも健康経営に日々取り組んでいます。課題・喫煙者の割合が高いこと・職員の年１回の健康診断でメタボや数値が悪くなる中年層が増え、若年層や高齢層にも影響が出てくるのではないかという懸念・職種の違いからの健康に対する考え方の違い、私は大丈夫という考え方など・健康診断時のストレスチェック結果でのストレスとの付き合い方改善・喫煙からの病気の防止・生活習慣病やストレスなどからくる病の防止・自分は大丈夫という固定概念をなくすこと
参加人数	104
活動内容について	・万歩計の配布：普段デスクワークが多い職種の職員に対して意識的に歩けるように万歩計を配布し、毎週記録をとり意識の醸成を行った・フィットネスジムの無償利用：中年太りや生活習慣病になる職員が気軽に身体を動かす週間付けを行う、身体を動かす汗をかくことはストレス発散にもつながる・髪から分かるストレス検査の実施（１０代～３０代対象）：ベンチャー企業と協力をし、ストレスチェックだけでは見えないストレスを身体から出る分泌を数値化することによって見える化しストレスと向き合ってもらった
アピールポイント	・健康経営を女性会議にて日々取り組めることの出来る取り組みを考える・フィットネスジムの無償利用を開始（以前は、チケットを総務に取りに行きチケットを受け取るというハードルの高さがあった為、利用数が少なかった為に休止した。再度意識醸成を行いたいと考え、ジムと連携をはかり名刺を受付で見せ手軽に利用出来るようにしたことによって、利用者数が増えた）・ストレスを髪から検出をする検査をベンチャー企業と協力し、企業で健康診断時に導入したりなど出来るよう検討中・８５歳の職員が現役で働いていることに着目し、調査を行ったところ身体を動かす（仕事をしている事）が元気の秘訣ということを職員に周知していくことで、意識の向上を行い、楽しく体を動かし元気に働いてもらえるようジム無償利用や、制度を考えた
活動の成果	健康経営をトップが率先して推し進める中、喫煙率の低下。健康診断結果での健康職員増と有所見者の減少が数値化されました。“健康”という意味での数値は健康で長く働ける環境づくりをすることだと考え取り組み続けています。・喫煙率 40%程度（2020 年位まで）が 26%（2022 年）に。・異常なし等の健康職員 15.6%(H28)から 29.1%（R4）へ増・要検査や要治療などの有所見者は 29.1%(H28)から 25.0%(R4)へ微減・最年長職員　85 歳（継続雇用で最年長の方ですが、他にも 70 代の方など元気に活躍しています）
財政健全化への貢献度	健康経営を進める中、将来の医療費削減のためには健康であることが重要です。建設業の中でも比較的喫煙率の高い会社でしたが、２０１８年の社長決意表明のあと段階的に施設の禁煙を進め、２０２２年以降敷地内全面禁煙とし、４０%近かった喫煙率も２０２２年の調査では２６%程度に下がりました。タバコによる健康被害

	だけではなく喫煙所での時間的ロスなどを軽減することで企業の生産性向上に繋がっています。それに伴い、健康診断でも異常なし等の健康職員は15.6%(H28)から29.1%（R4）へ増進し、要検査や要治療などの有所見者は29.1%(H28)から25.0%(R4)と下がってきています。継続的な治療や受診をしているものも多く、大幅な医療費削減には繋がっていないが、重症化や長期入院などのリスクを減らしている。人手不足の建設業にあっては生産性向上の要である“人”が健康で働けること。また、治療と仕事の両立が出来る職場環境であることは、長期的に財政健全化に寄与すると考えます。

健康づくり活動報告

健康で働きやすい環境整備を実施し健康職場をめざす

高橋建設株式会社

健康づくり関連

6月　健康事業所宣言（協会けんぽ）

10月　ヘルスマネジメント認定事業所認定

2月　しまね活き活き雇用賞受賞

5月　ヘルスマネジメント認定事業所表彰（5年目）

12月　**「健康長寿しまね推進会議会長賞」受賞**

2016年　2017年　2021年　2022年　2023年

2017年2月～　健康経営優良法人（中小規模法人部門）認定
（2021年を除く）

NO. 0002

認定証

高橋建設株式会社 様

貴社従業員の健康づくりへの積極的な取り組みに対し「ヘルス・マネジメント認定事業所」に認定したことを証します

平成二八年一〇月一九日

島根県知事　溝口善兵衛

全国健康保険協会
島根支部長　大塚　正明

2023
健康経営優良法人
Health and productivity

認定証
（中小規模法人部門）

法人名　高橋建設株式会社

貴法人は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取組が優良であると認められました
よって、ここに「健康経営優良法人2023（中小規模法人部門）」として認定します
経済産業省及び厚生労働省と共に、今後一層取組を推進されることを期待いたします

２０２３年３月８日

日本健康会議

日本健康会議
NIPPON KENKO KAIGI

表彰状

健康長寿しまね推進会議会長賞

高橋建設株式会社 様

あなたがたは永年にわたって積極的に健康づくりに取り組まれ健康で明るい地域社会づくりに貢献をされましたこれは島根県が推進している健康長寿日本一をめざした健康づくりの県民運動の模範となるものであります よってこれを表彰します

令和四年十一月十七日

健康長寿しまね推進会議
会長　森本　紀彦

日々の健康活動

健康づくりには日々の運動も重要です。

〇毎朝のラジオ体操（現場）

〇事務系・技術系社員に万歩計配布

健康でケガなく安全に働くため、現場では朝のラジオ体操から体をほぐして作業を開始します。
また、運動不足になりがちな事務系の社員には万歩計を配布し数値化することで運動の動機付けを行っています。

健康づくりにはスポーツを含む運動も重要です。

〇スポーツイベントの開催

〇スポーツジム利用料金の補助

社員が集まり一緒に汗を流し、楽しみながらスポーツを行う行事を企画しています。また、地元の小学生とサッカーを通じて交流をするなど健康活動も実施。

最近は健康管理、維持にスポーツジムに通われる方も多くなっています。ジムの利用料金を補助し健康推進を図っています。

1／主体性

週初めの朝礼や災害防止協議会などの集まりの中、社員への健康経営活動の周知等を行う。

○健康診断の全員実施と、結果を受けての二次検診の推奨
○季節性インフルエンザ等への注意喚起
○喫煙に伴う健康被害の周知、禁煙の推奨

資料などで注意喚起

健康診断後の二次検診については有所見者が約30名ほど。
二次検診の受診についても推奨しており、そのために有給休暇を時間単位で利用できるなど健康管理と仕事の両立しやすい環境を整備しています。
（二次検診は強制ではないので100％受診とはなりませんが、病気の早期発見に繋がる場合も有るので、奨励しています）

※健康診断の結果、保健指導の対象者については就業時間内に社内会議室で保健師さんの指導を受けています。

健康で働きやすい環境整備を実施し「たばこ」のない健康職場をめざす。

～2011年頃まで屋内に分煙機設置以後撤去し屋内禁煙

2018年8月 **社長決意表明**

2021年12月まで屋内禁煙とし屋外に喫煙場所を設置

2022年1月～敷地内全面禁煙

空気のきれいな健康職場

段階的な喫煙対策の実施

高橋建設の喫煙状況		
～2020年	2021年	2022年
36.0%	30.3%	26.0%

※2020年までは34～43％で推移

独　自　性

2／独自性

社員の2割を占める女性社員。
資格を持って男性社員と同じように現場管理を行う社員から事務系の社員と多岐にわたります。そういった女性社員の意見や要望を取り入れ「健康」で長く働ける職場づくりに活かしています。

社内 女性会議

社内の女性社員が集まり、情報共有するための会議

管理部 女子会

現場で管理業務を行う社員が情報共有するための会議（育休社員などの参加も）

本人・同居家族への
ワクチン接種補助
治療と仕事の両立支援
安心して長く働ける環境
産休・育休後の
職場復帰支援
定年後も本人の希望する
働き方が出来る

若者から高年齢者まで一緒に元気に
健康で長く働ける地域建設業者として
これからも頑張って行きます
ヘルス・マネジメント認定事業所 表彰式

ご清聴ありがとうございました

「第３７回　全国青年の集い２０２３ｉｎ山形　健康経営大賞」

吉村アドバイザーフィードバックシート

吉村健佑氏：精神保健指定医・労働衛生コンサルタント・公認心理師・
千葉大学医学部附属病院　特任教授・産業医・
全法連青連協健康経営プロジェクトアドバイザー

対象：ファイナリスト単位会・部会員企業

【部会員企業】

	良かった点・評価できるポイント	今後の取り組みに向けてのアドバイス
高橋建設株式会社（島根・益田法人会）	・健康診断の１００％実施、二次検診の推奨は大切 ・女性会議など、職場特性を踏まえたディスカッションによる環境改善などはコミュニケーション向上として良いと思う ・喫煙についての取り組みは大切で健康という点では効果も高い。喫煙率を出すのも明確で効果を感じる	・福利厚生の範囲にとどまらず、健康経営とどう結びつけていくか、発信していくかということを再編集（考え方、伝え方の転換など）しても良いのではないかと感じた